

# 小児看護学

## 1 子どもの運動機能の発達について正しいのはどれか。

1. 新生児期のころは、遺伝よりも環境の影響を非常に受けやすい。
2. 発達の方向は決まっておらず、個人差が大きい。
3. 全身的な動きから細かな動きに進む。
4. 末梢の細かな動きから中心方向に進む。

成長発達の原則として方向性、順序性がある。頭部に近い部位から身体下部に発達する（頭尾方向）。身体の中心部から末梢部に発達する（近遠方向）。全体的運動（粗大運動）から分化した運動（微細運動）に発達する。連続的であるが、一定の速度ではなく、急速な時期と緩慢な時期がある。決定的に重要な時期の臨界期がある。個人差がある。【答え 3】

## 2 IgAの説明で正しいのはどれか。

1. 胎盤を通過した母体由来の免疫グロブリンである。
2. 初乳に多く含まれ、乳児に受動免疫を与える免疫グロブリンである。
3. 生後3～6カ月ごろに減少する。
4. 1歳ごろに成人と同じ量になる。

免疫系の発達は胎児期から始まっているが、生後しばらくは母体由来の免疫による部分が多い。免疫グロブリンの中で感染防御作用をもつのは、IgG（胎盤を通して母体から胎児に移行）、IgA（初乳には分泌型IgAが多く含まれる）、IgMである。母体由来のIgGは、生後5～6カ月でほぼ消失する。子ども自身の免疫グロブリンは生後7カ月以降増加し、10歳ごろに成人レベルに達する。【答え 2】

## 3 Aちゃん（2歳）は感染性胃腸炎のため入院している。紙おむつを着用しており、看護師が殿部を観察すると、発赤とびらんがみられた。Aちゃんへの看護で適切なのはどれか。

1. アルコール入りのおしり拭きで殿部の清拭を行う。
2. トレーニングパンツを使用する。
3. おむつ交換の回数を減らす。
4. 38～39℃のぬるま湯で殿部浴を行う。

アルコール入りのおしりふきで殿部を拭くと、刺激が強く、発赤とびらんが悪化する可能性がある。Aちゃんは2歳なので、まだ排便の後始末ができる発達段階ではなく、トレーニングパンツの適応ではない。おむつ交換の回数を減らすと、湿潤環境が悪くなり、発赤とびらんが悪化する可能性がある。よって、正解は4である。【答え 4】

**4** Bちゃん1歳0カ月は、つかまり立ちをしようとして電源の入ったアイロンが載ったアイロン台をひっくり返して、前腕部の熱傷を負った。Bちゃんは入院となったが、その後、退院して外来で処置を行うことになった。Bちゃんの母親は、「Bにとっても痛くてつらい思いをさせてしまった。気を付けたい」と話している。家庭内の事故防止について、Bちゃんの母親に指導する内容として優先度が高いのはどれか。

1. アイロンの使用温度の設定
2. Bちゃんへの説明方法
3. 1歳児の行動の特徴
4. 熱傷が重症になった場合の事例を伝える

アイロンの設定温度を変更しても、熱傷防止にはつながらない。Bちゃんは1歳であり、説明しても自分で回避行動をとれる年齢ではない。1歳という年齢はつかまり立ちや歩行を始める時期であるため、行動の特徴を説明することが適切である。熱傷の重症の事例を伝えることは母親の不安をあおる可能性がある。母親は振り返っており、重症事例を知ることは直接の予防行動にはつながらない。【答え 3】

**5** 予防接種の説明で適切なのはどれか。

1. 疾病予防を目的とした一次予防である。
2. 早期予防を目的とした二次予防である。
3. 健康増進を目的とした三次予防である。
4. 重症化予防を目的とした二次予防である。

予防接種は、疾病予防を目的とした一次予防である。健康診断など、病気の早期発見・治療を目的とするものが二次予防、リハビリテーションなど、社会復帰を支援し再発を予防するものが三次予防である。【答え 1】

**6** Cちゃん(9歳、女兒)は、小学校3年生である。2週間前から多飲、多尿となり、最近、体重の減少もみられるようになった。母親は特に気にせず、受診させなかった。本日、Cちゃんは授業中に倒れて病院に搬送された。脈拍130/分、血圧70/36mmHg、昏睡状態であった。Cちゃんからは甘酸っぱいフルーツのようなにおいがした。入院時、随時血糖値600mg/dL、HbA1c13.6%、尿中ケトン体強陽性、自己抗体+、pH7.1、重炭酸( $\text{HCO}_3^-$ )濃度<15mEq/Lであった。Cちゃんは1型糖尿病の疑いで入院した。Cちゃんのアセスメントで最も適切なのはどれか。

1. 低血糖
2. 糖尿病ケトアシドーシス
3. 代謝性アルカローシス
4. 高浸透圧高血糖状態

血中にケトン体が過剰に蓄積し、血液のpHが酸性に傾いた状態を、ケトアシドーシスという。pHが酸性に傾くと、甘酸っぱいにおいがする特徴がある。1型糖尿病による糖尿病性ケトアシドーシスである。【答え 2】